

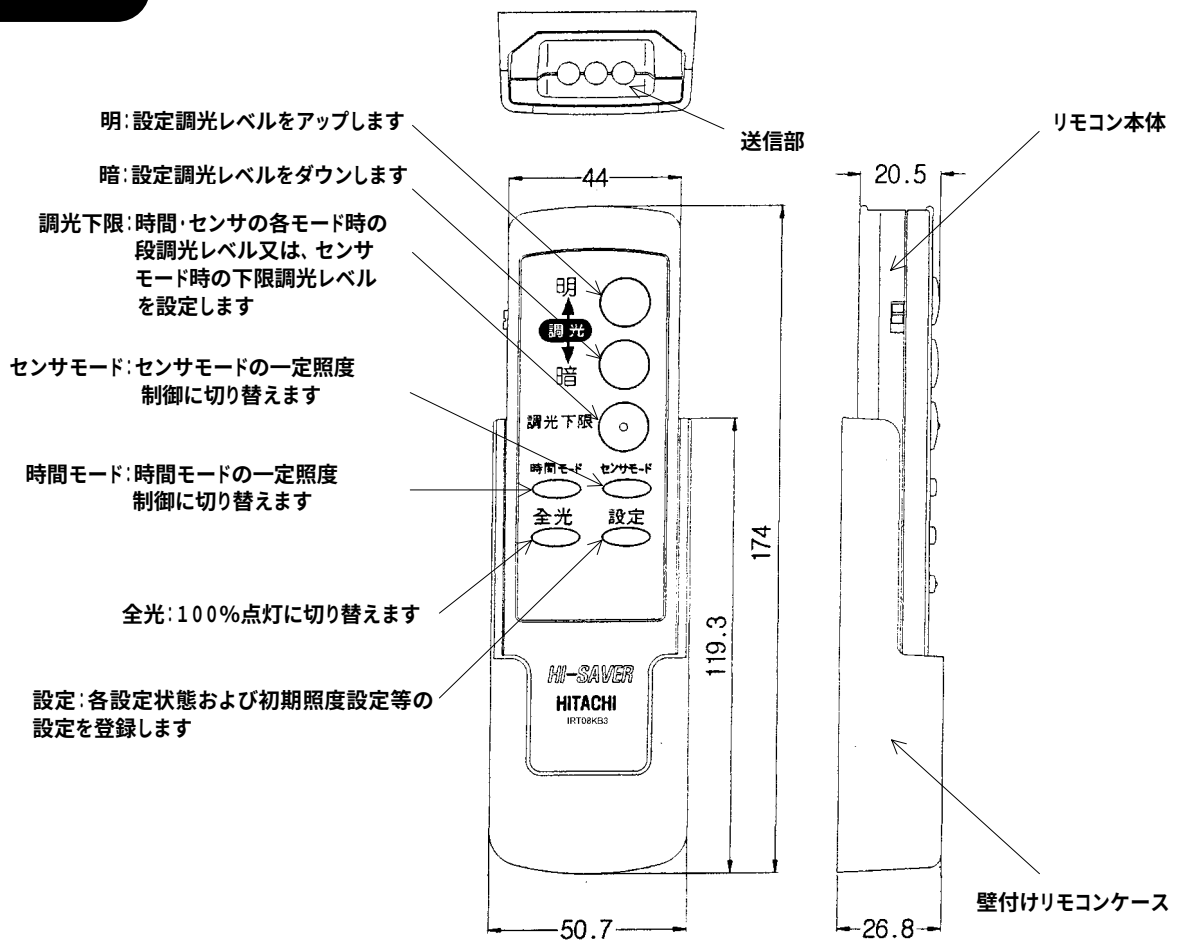
保管用

IRT08KB3-2

このたびは照明制御装置をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は照明制御装置「DR20711」及び「DR20711N」の設定・操作のリモコン設定器について記載しております。よくお読みいただき、正しくお使いください。

1. 外観・仕様



- ・送信距離 : 5m
- ・操作範囲 : 直下または30°以内で操作して下さい。
- ・使用電池 : 単3×2個(付属品)
- ・設定操作
 - 1) 100%の明るさ設定(初期照度設定)
 - 2) 動作モード切替(時間モード/センサモード/手動モード)
 - 3) 調光アップ/ダウン操作
 - 4) ランプ寿命時間リセット
 - 5) 段調光レベル設定
 - 6) 手動モードでの消灯操作(PX器具のみ有効)

*リモコンケースは付属の取付ネジで固定して下さい。

*本リモコンは(DR20711/DR20711N)との組合せ専用です。

*リモコン本体側面のチャンネル切替スイッチはリモコン機能には関係ありません。

2. 設定手順

全体の流れについて

(適正な明るさを維持し省エネをはかるため正しく設定を行ってください。)

設定操作は、外光が入らない夜間等に行ってください。

1) 照明制御装置の切替設定の確認 (各制御装置の取扱説明書を参照ください。)

- ・ DR20711 の場合 : ランプ定格寿命設定 (12,000h/9,000h 切替) を確認して切替えてください。
- ・ DR20711N の場合 : 器具タイプ設定 (ED/EX/PX 切替) を確認して切替えてください。

2) 初期照度設定

照明制御装置に 100%点灯状態の明るさを記憶させます。(照明器具全て 100%点灯して行います。)

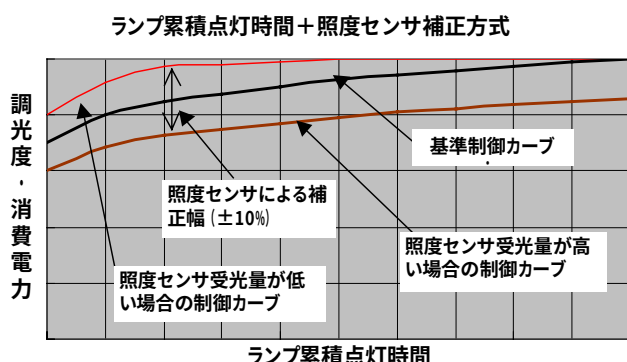
3) 動作モードを選択

本装置には一定照度制御を行う為の方式として、センサモードと時間モードの機能があります。

- ・ センサモード : 照度センサに入る光の量が一定になる様に制御する方式で、使用器具の器具タイプ以外の仕様に依存しない方式です。照度センサの受光量のみで制御する為、昼光等で変動が大きい場合、照明器具の明るさの変動も大きくなります。

※明るさの変動が大きくならないように調光下限で下限レベルを設定します。

- ・ 時間モード : ランプ累積点灯時間に対する調光度変化の基準カーブに対して、照度センサの受光



量に応じて、照度が一定になるように明るさ補正 (約±10%) をおこなう制御方式で、外的変動に対して安定した制御ができます。

照明器具に使用するランプの定格寿命及び最小調光度を合わせる必要があります、又、ランプ寿命時、ランプの一斉交換が前提となります。

※DR20711/DR20711N とも最小調光度が約 25～35%タイプの HI-SAVER 専用照明器具が対象で、それ以外の器具を使用する場合は、センサモードに設定して使用ください。

4) 通常時の調光度設定

通常使用時 (外部入力 1,2 がオープンの状態) の調光度を設定します。

5) 段調光時の調光度設定

段調光時 (外部入力 1 がショート、2 がオープンの状態) の調光度を設定します。

※センサモード選択時には、この段調光設定値が、通常時及び段調光時の下限調光度になります。

通常時に、過剰光 (太陽光等) が入る場合に、この設定値以下に調光度が下がるのを制限します。

◎ 外部入力 1, 2 の接点状態の組合せで調光レベルを切り換える事ができます。

① DR20711の場合

	外部入力1	外部入力2	時間モード	センサモード	手動モード
モード1	H (オープン)	H (オープン)	通常レベル	通常レベル	通常レベル
		L (ショート)	段調光レベル	段調光レベル	段調光レベル
モード2	L (ショート)	H (オープン)	段調光レベル	段調光レベル	段調光レベル
		L (ショート)	min 調光レベル	min 調光レベル	min 調光レベル

② DR20711Nの場合

*ED/EX選択時

	外部入力1	外部入力2	時間モード	センサモード	手動モード
モード1	H (オープン)	H (オープン) L (ショート)	通常レベル min 調光レベル	通常レベル min 調光レベル	通常レベル min 調光レベル
モード2	L (ショート)	H (オープン) L (ショート)	段調光レベル min 調光レベル	センサ下限値 min 調光レベル	段調光レベル min 調光レベル

*PX選択時

	外部入力1	外部入力2	時間モード	センサモード	手動モード
モード1	H (オープン)	H (オープン) L (ショート)	通常レベル min 調光レベル	通常レベル min 調光レベル	通常レベル min 調光レベル
モード2	L (ショート)	H (オープン) L (ショート)	段調光レベル 消 灯	センサ下限値 消 灯	段調光レベル 消 灯

* 外部入力信号は、無電圧a接点で、タイマーや手動操作スイッチ等で、操作することが出来ます。

接点仕様については、制御装置の取扱説明書を参照ください。

2.1 初期照度設定

本装置設置後及び、レイアウト変更を行った場合は、必ず、この操作を行ってください。

- (1) 最初に初期照度設定を行わないと、通常の設定が出来ませんのでご注意ください。
- (2) 初期照度設定を行う場合は、夜間の昼光の影響が無い状態で行ってください。また昼間行う場合は、窓から入射する光を遮るようカーテン、ブラインド等を完全に閉めて行ってください。
- (3) 照明制御装置が隣接して設置してある場合は、全ての照明器具を 100%点灯してから実施してください。

操作方法

- ① **全光**キーを選択します。(照明器具を全光で点灯します。)

*モード表示が点灯(全光状態)している事を確認して下さい。

*ランプの明るさが安定するまで待ちます。(約15分程度で明るさが安定します。)

- ② **全光**キーを **10秒以上押し**て **設定**キーを押す。

100%の明るさを記憶し、「ピー」とブザーが鳴る。(約5～最大約20秒)

(通常のキー操作時の「ピッ」の音より長いブザーが鳴ることを確認します。)

*正常に設定が完了すると、**信号線短絡表示灯**が点滅→消灯に変化します。

*ブザー音が約5～20秒間鳴らない場合には、再度、②の操作をして下さい。

*初期照度未設定時には、信号線短絡表示灯が点滅しています。

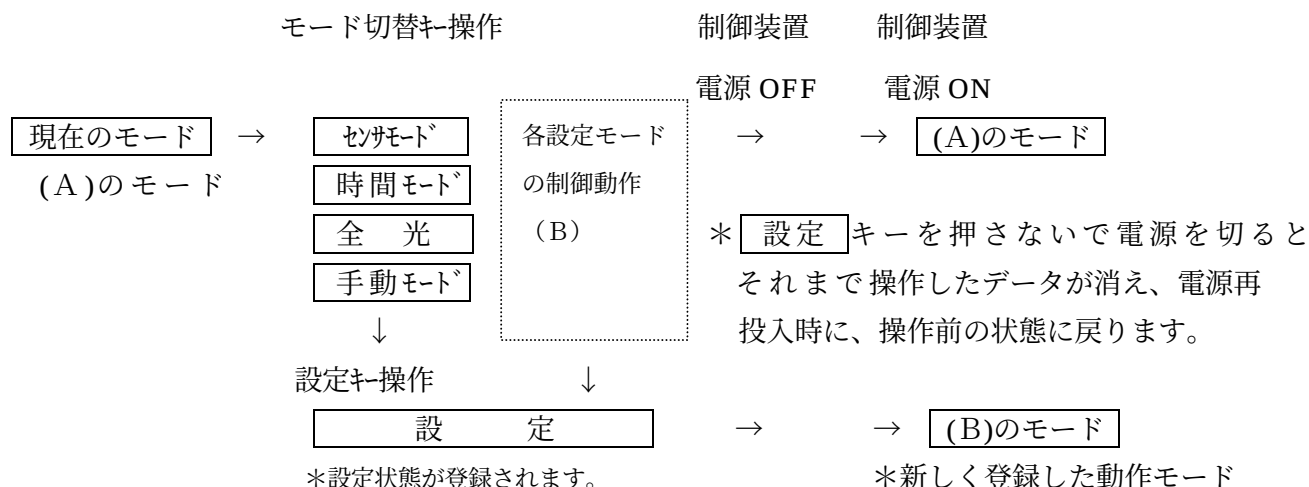
* 初期照度設定で信号線短絡表示灯が点滅のままの場合は、以下の原因があります。

センサ表示灯	原因と処置内容
点 滅	センサへの入射光が大きい。 遮光シールで過剰の明かりを防止してください。
消 灯	センサへの入射光が少ない。 照明器具の光が入る様、配置を検討ください。

2.2 動作モード選択と通常設定操作

2.2.1 動作モードの切替操作

＊モード切替パターン（**設定**キーによって設定状態が登録されます。それまでは、一時的な設定です。）



2.2.2 モード設定の変更（明るさ設定の変更）

(1) センサモードの設定

＊センサモード通常調光度設定

No.	キー操作	結果・状態
①	センサモード キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が点滅します。 ＊点滅しない： リモコン信号を受信していない為、再度、センサモードキーを押す。
②	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになるまで押す。 ＊外部入力1,2をオープン状態で操作してください。	・明るさを 明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 明、明、・・・、明：16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・、暗：16段階の明るさ設定 ＊ 明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 ＊ 暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長い「ピッ・ピッ・ピッ」と約2～3秒間鳴ります。明るさ変更設定後、明るさが変化・安定するまで2～3分掛かります。
③	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定した調光レベルを記憶します。 （3～4秒間鳴らない場合には、①～③の操作を繰り返します） ＊<u>ご注意</u> 通常モード時にセンサに入る光の量が過度の場合、一定の明るさ制御する為に、センサモード下限設定値まで変化します。

＊センサモード段調光(下限値)調光度設定

No.	キー操作	結果・状態
①	センサモード キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が点滅します。 ＊点滅しない：リモコン信号を受信していない為、再度、センサモード キーを押す。
②	調光下限 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。
③	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになるまで押す。 ＊外部入力1ショート,2をオープン状態にして操作下さい。 ＊外部入力オープンの場合設定は出来ませんが明るさは変わりません。(通常モードの動作をします。)	・明るさを明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 明、明、・・・明：16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・暗：16段階の明るさ設定 ＊明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 ＊暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長く「ピッ・ピッ・ピッ」と約2～3秒間鳴ります。(明るさ変更設定をしてから、ランプ明るさが変化・安定するまで2～3分掛かります。) ・この設定レベルは、センサモード時での通常時及び、段調光時の下限調光度になります。
④	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定した調光レベルを記憶します。 (3～4秒間鳴らない場合には、①～④の操作を繰り返します)

(2) 時間モードの設定

＊時間モード通常調光度設定

No.	キー操作	結果・状態
①	時間モード キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が消灯します。 ＊消灯しない：リモコン信号を受信していない為、再度、時間モード キーを押す。
②	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになるまで押す。 ＊外部入力1,2をオープンの状態で操作してください。	・明るさを明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 明、明、・・・明：16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・暗：16段階の明るさ設定 ＊明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 ＊暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長く「ピッ・ピッ・ピッ」と約2～3秒間鳴ります。 (明るさ変更設定をしてから、ランプ明るさが変化・安定するまで緩和調光機能が内蔵されているため、2～3分掛かります。)
③	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定した調光レベルを記憶します。 (3～4秒間鳴らない場合には、①～③の操作を繰り返します)

＊ 時間モード段調光度設定

No.	キー操作	結果・状態
①	時間モード キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が消灯します。 ＊消灯しない： リモコン信号を受信していない為、再度、時間モード キーを押す。
②	調光下限 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。
③	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになるまで押す。 ＊外部入力1ショート,2をオープン状態にして操作下さい。 ＊外部入力1,2がオープンの場合設定は出来ませんが明るさは変わりません。(通常モード動作をします。)	・明るさを 明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 明、明、・・・明：16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・暗：16段階の明るさ設定 ＊明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 ＊暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長く「ピッ・ピッ・ピッ」と 約2～3秒間鳴ります。 (設定変更後、ランプの明るさが安定するまで緩和調光機能のため、2～3分掛かります。)
④	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と、約3～4秒ブザー音が鳴り、設定調光レベルを記憶します。(3～4秒間鳴らない場合には、①～④の操作を繰り返します)

(3) 手動モードの設定

＊手動モード通常調光度の設定

No.	キー操作	結果・状態
①	全光 キーを押す。	・モード表示が点灯します。 点灯しない： リモコン信号を受信していない為、再度 全光 キーを押す。
②	明 又は 暗 キーを押す。 ＊この操作で、手動モードに切り替わります。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示は、遅い点滅(2秒サイクル)します。 ＊点滅しない： リモコン信号を受信していない為、再度、明 又は 暗 キーを押す。
③	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになる迄押す。 ＊外部入力1,2をオープンの状態で操作してください。	・明るさを 明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 (ステップ数は、照明器具の最小調光度により変わります。) 明、明、・・・明：16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・暗：16段階の明るさ設定 ＊明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 ＊暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長い「ピッ・ピッ・ピッ」と 約2～3秒間鳴ります。 (明るさ変更設定をしてから、ランプ明るさが変化・安定するまで1～2分掛かります。)

④	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定した調光レベルを記憶します。 (3～4秒間鳴らない場合には、①～④の操作を繰り返します)
---	------------------	--

*手動モード段調光光度の設定

No.	キー操作	結果・状態
①	全光 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が点灯します。 *点灯しない：リモコン信号を受信していない為、再度、全光 キーを押す。
②	明 又は 暗 キーを押す *この操作で、手動モードに切り替わります。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示は、遅い点滅(2秒サイクル)します。 *点滅しない：リモコン信号を受信していない為、再度、明 又は 暗 キーを押す。
③	調光下限 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。
④	照度計を見ながら 明 又は 暗 キーを設定レベルになる迄押す。 *外部入力1ショート,2をオープン状態にして操作下さい。 外部入力1,2がオープンの場合設定は出来ませんが明るさは変わりません。(通常モードの動作をします。)	・明るさを明、暗 キーで所定の明るさに設定します。 明、明、・・・、明 : 16段階の明るさ設定 暗、暗、・・・、暗 : 16段階の明るさ設定 *明 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがアップします。 *暗 キーを押す度に、約5%^{注1}づつ明るさがダウンします。 ・この操作で、それぞれの上下限ステップを超えると、通常の短い操作音(約0.5秒)より長い「ピッ・ピッ・ピッ」と約2～3秒間鳴ります。 (明るさ変更設定をしてから、ランプ明るさが変化・安定するまで1～2分掛かります。)
⑤	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定調光レベルを記憶します。 (3～4秒間鳴らない場合には、①～⑤の操作を繰り返します)

*手動モードでの消灯設定

(器具起動方式のPXタイプのみ有効で、EX・EDタイプには消灯機能は有りません。)

No.	キー操作	結果・状態
①	全光 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が点灯します。 *点灯しない：リモコン信号を受信していない為、再度、全光 キーを押す。
②	明 又は 暗 キーを押す *この操作で、手動モードに切り替わります。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示は、遅い点滅(2秒サイクル)します。 *点滅しない：リモコン信号を受信していない為、再度、明 又は 暗 キーを押す。
③	調光下限 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。

④	暗 キーを押し続ける。 外部入力の状態が優先しますのでご注意ください。	調光の下限になると通常の操作時の「ピッ」音より長く鳴りますが、さらに約5～10秒程度押し続けていると消灯します。
---	---	--

＊消灯モードの解除方法：いずれかのキーを押すことにより、消灯前の状態に戻ります。

(4) 全光モードの設定

No.	キー操作	結果・状態
①	全光 キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が点灯します。 ＊点灯しない：リモコン信号を受信していない為、再度 全光 キーを押す。
②	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、設定した調光レベルを記憶します。 （3～4秒間鳴らない場合には、①～②の操作を繰り返します）

注)1；25～35%調光器具の場合、1ステップ約5%明るさが変化します。

！ご注意

全光キーの長押しの操作は、初期照度設定になりますので、全光モード設定の場合には、区別を明確にする為、

全光

キーを1回押してブザー音を確認後、

設定

キーを押してください。

3. その他の設定方法

ランプ交換時の寿命時間リセット

ランプが寿命近くなると、ランプの一斉交換をしますが、時間モードでご使用の場合、照明制御装置に内蔵しているランプ点灯累積時間カウンターを初期状態に戻す為、カウンターをリセットする必要があります。（センサモード使用時にはリセットの必要はありません。）

○ ランプ交換表示は（緑）は下記内容を示します。

ランプ交換表示	状 態
緑点灯	通常点灯の状態
緑遅い点滅	ランプの一斉交換おすすめ時期に来ていることを表示します。
緑早い点滅	ランプの寿命に来ていますので、速やかに一斉交換をして下さい

○ 操作手順

No.	キー操作	結果・状態
①	時間モード キーを押す。	・「ピッ」と約0.5秒程度の短い操作音がします。 ・モード表示が消灯します。 * 消灯しない：リモコン信号を受信していない為、再度、時間モード キーを押す。
②	時間モード キーを10秒以上押し続けます。	・時間モードキーを押している間中、ブザーが鳴り続けます。
③	設定 キーを押す。	・「ピッ・ピッ・ピッ」と約3～4秒ブザー音が鳴り、記憶している時間がリセットされます。 ・ランプ交換表示が点滅から連続点灯に変わります。 （3～4秒間鳴らない場合又は、連続点灯に切り替わらない場合は①～③の操作を繰り返します）

4. 点 検

(1) モード表示灯（緑色）

モード表示灯は下記内容を示します。

点灯状態	状 態
消 灯	時間モード運転
早い点滅	センサモード運転
遅い点滅	手動運転
点 灯	全光運転

(2) センサ表示灯（橙色）

センサ表示灯は初期照度設定値に対して以下の状態です。

点灯状態	状 態
点 灯	入射光が約50～100%の状態
消 灯	入射光が約50%以下
点 滅	入射光が約100%以上

(3) ランプ交換表示灯（緑色）

ランプの点灯累積時間の経過を示します。

点灯状態	状 態
点 灯	通常点灯の状態
遅い点滅	交換おすすめ時期表示
早い点滅	寿命時期表示

(4) 信号線短絡表示灯（赤色）

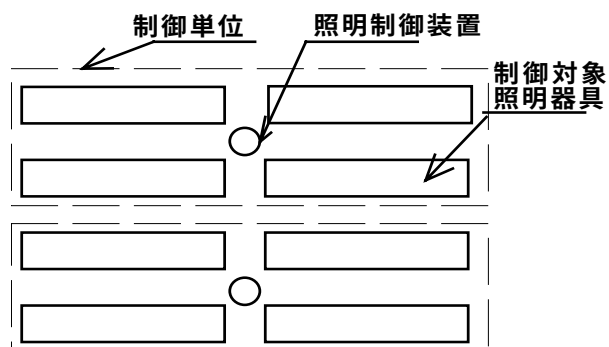
調光信号線の短絡状態表示

点灯状態	状 態
消 灯	正常動作
点 灯	信号線短絡表示
点 滅	初期照度未設定

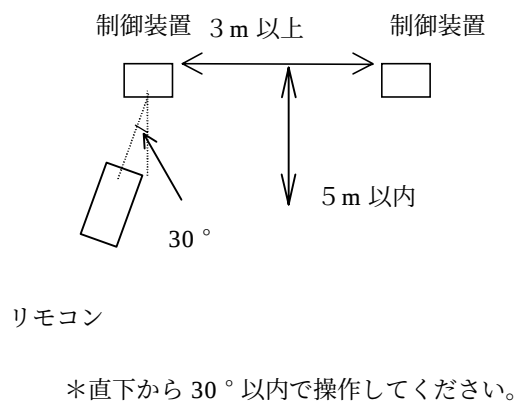
*コメント：早い点滅；約0.5秒サイクル／遅い点滅；約2秒サイクル

5. その他

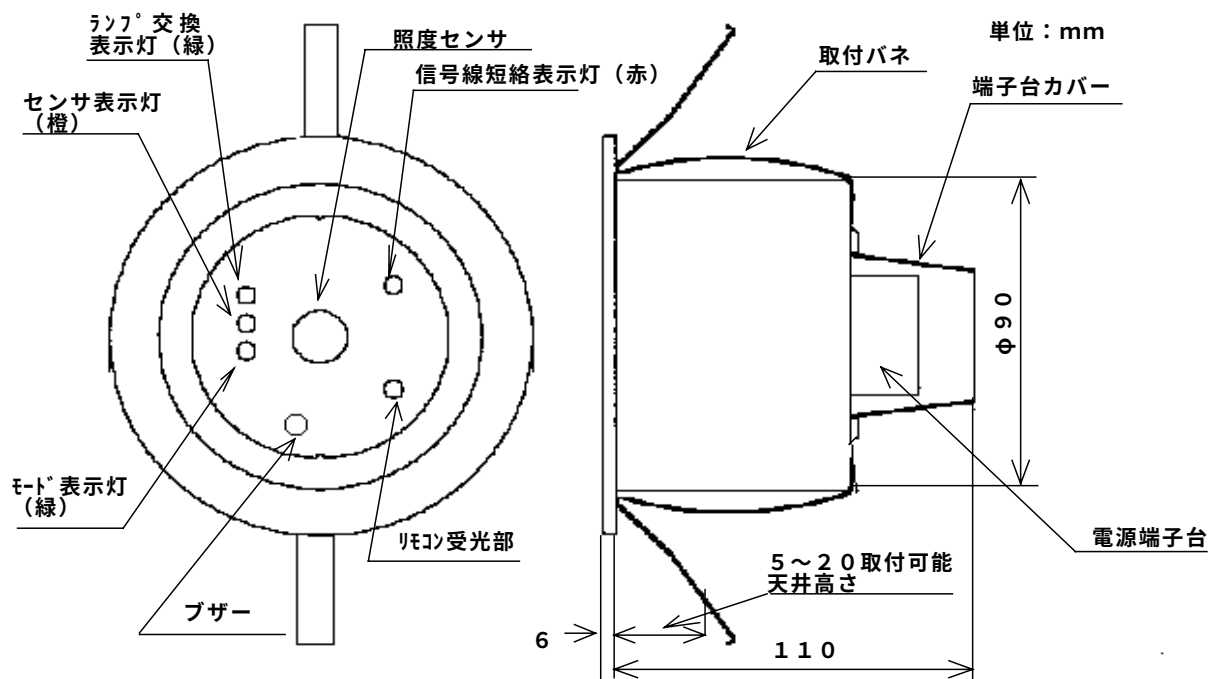
- (1) 照明制御装置と照明器具の位置関係
本体は制御対象照明器具の中央に設置



- (2) リモコン送信機の送信距離：5 m



6. DR20711/DR20711N本体の外観



日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話 (03) 3255-5256

2006.02 KTB36397 R1